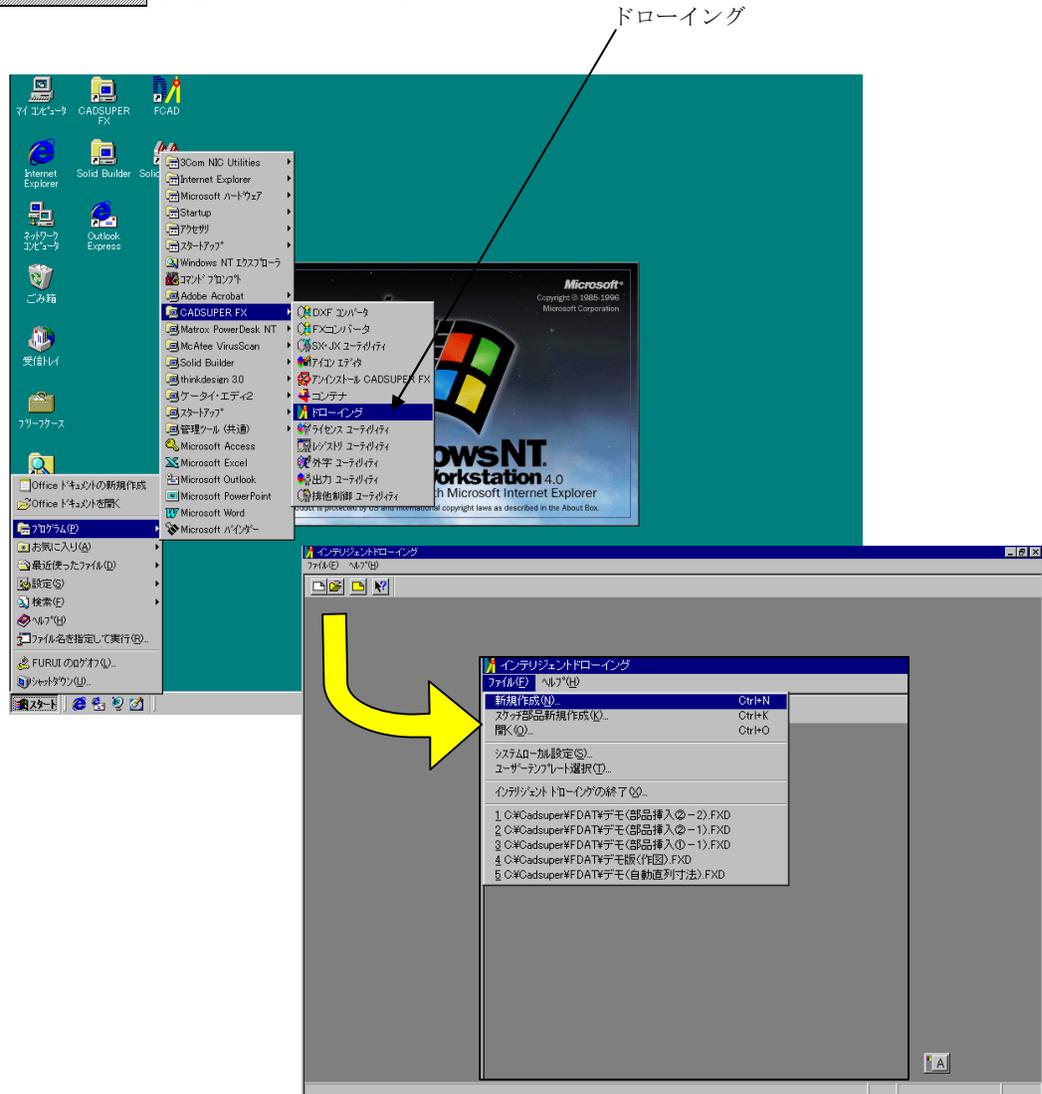


## —CAD SUPER FX 作図基本編—

### ～デモマニュアル～

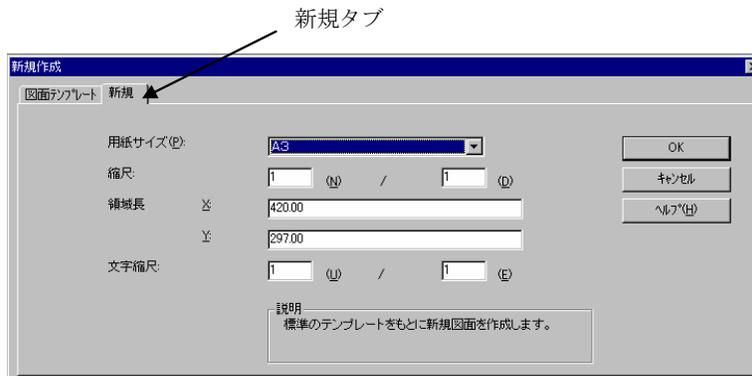
CADSUPER FX for Windows の基本操作についてご説明いたします。

まず、ウィンドウズのスタートの中からプログラムを選び、**CADSUPER FX**の中の**ドローイング**を起動していただきます。

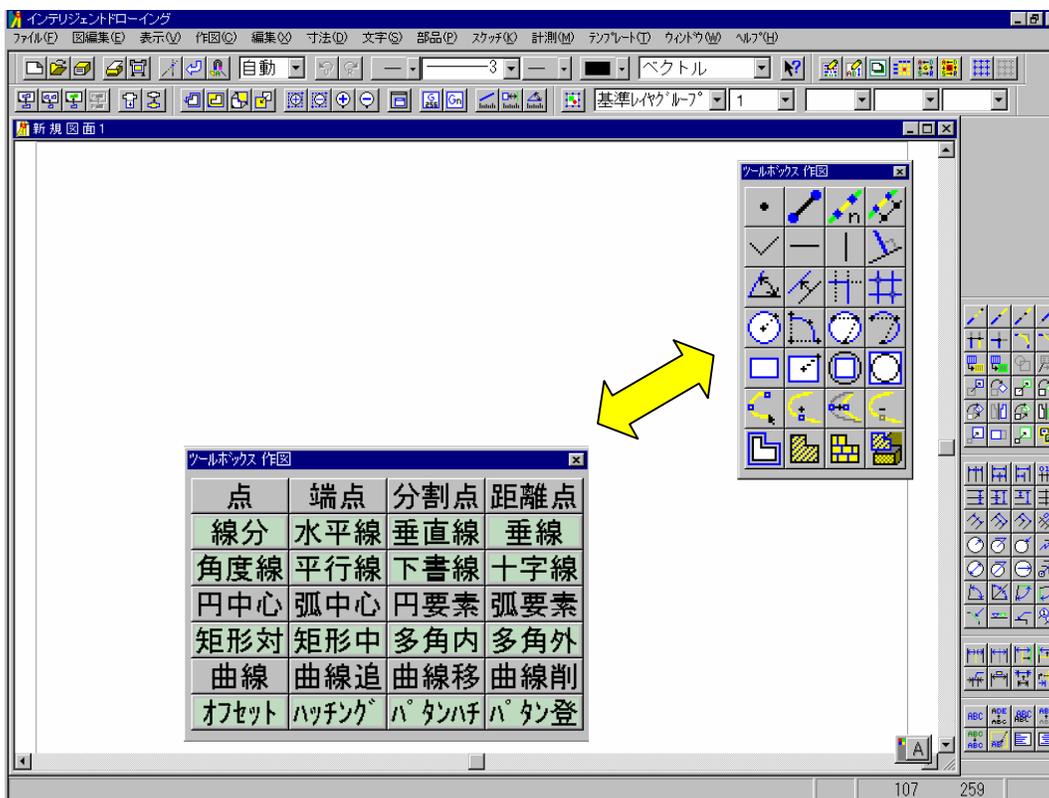


最初に**ファイル**の**新規作成**をクリックしましょう。

次に新規タブをクリックして、用紙サイズの中から（右側の三角をクリックしますと以下の用紙を選ぶことができます。）A3を選んで、OKを押します。A3の新規図面が開きました。



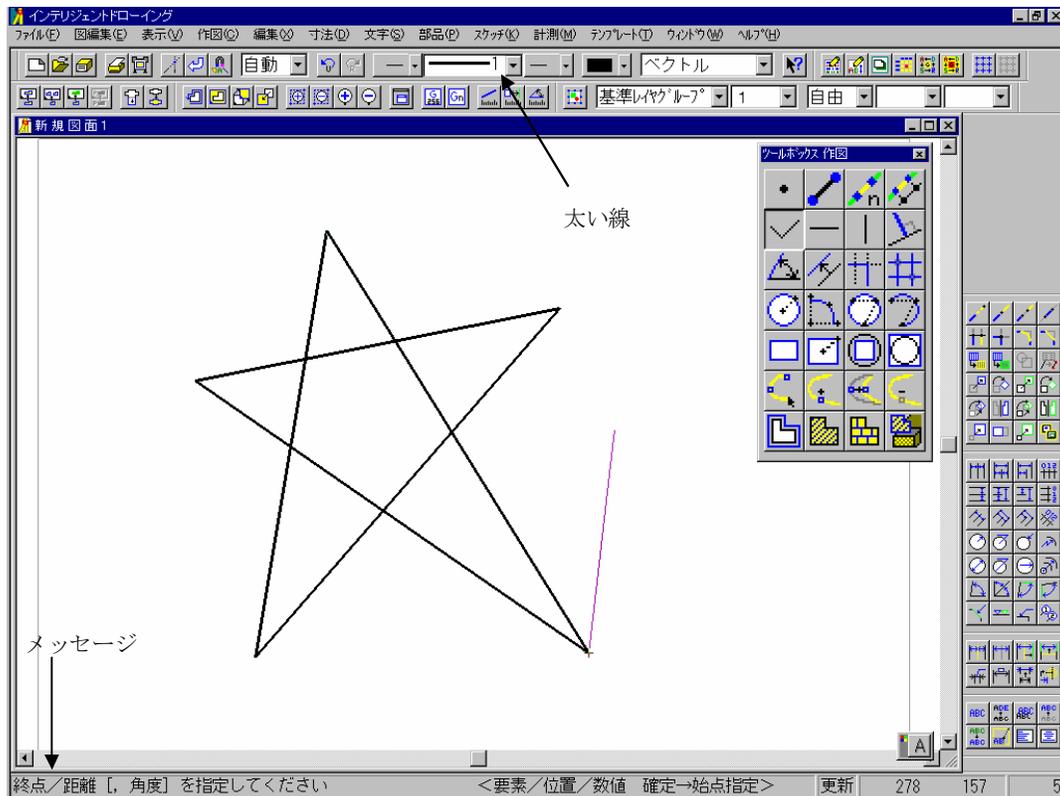
初めにメニューについてご説明します。



メニューは、16ドット、24ドット、32ドットをサポートし、アイコン表示または、日本語アイコン表示もサポートしています。アイコン表示で右クリックして文字表示を左クリックしますと、この様にアイコンが文字表示に変更されます。また、アイコン表示を32ドットにしますと、アイコンがこの様に見やすく表示することができます。

では、**線一連続線**で線を描いてみましょう。( 太い線を選ぶ)

マウスのクリックは左ボタンで行います。操作は対話形式で画面左下にメッセージ表示されるので確認しながら操作を行うことができます。



確定の指定方法は、3つあります。

1つはツールバー上側にある**確定**アイコンをクリックします。他には、マウス右ボタンで**ポップアップメニュー**が表示されますので、この中の**確定**を左クリックします。そして、もう1つの方法は、**キーボードのリターンキー**で確定します。ここで、**上側モード1**で**自動**を選択します。この様に**15度**間隔で連続線が描くことも出来ます。(自由に戻す)

また、図面の中のナビゲーション機能は、マウスカーソルの位置から、認識できる要素をビジュアルに表現します。線分の端点や交点に近づけてみましょう。ナビゲーション機能が働きますので、端点や交点の認識が楽に行えます。

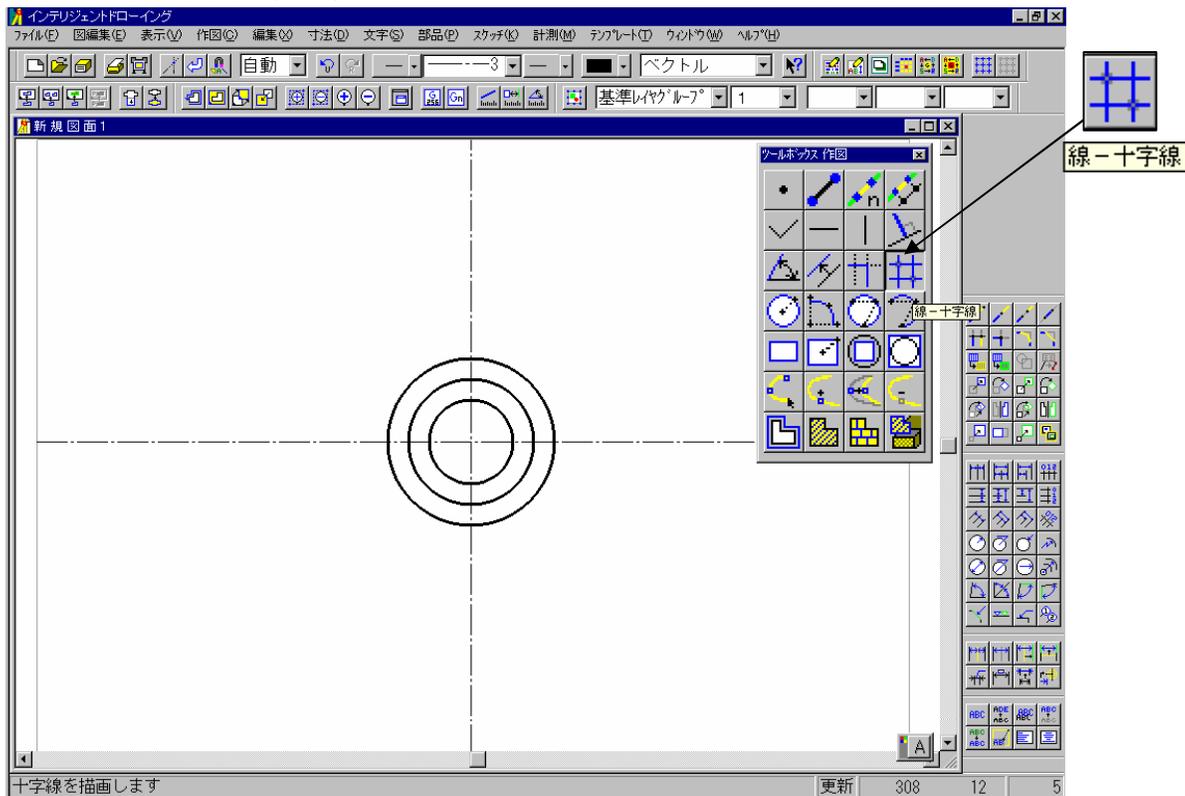
(BackSpace キーで白紙に戻す)

線種を 1 点鎖線にし、**十字線**コマンドを選択し、中心線を描きます。図枠いっぱい  
に水平。垂直線を十字に描きます。(線種を太い線に戻す)

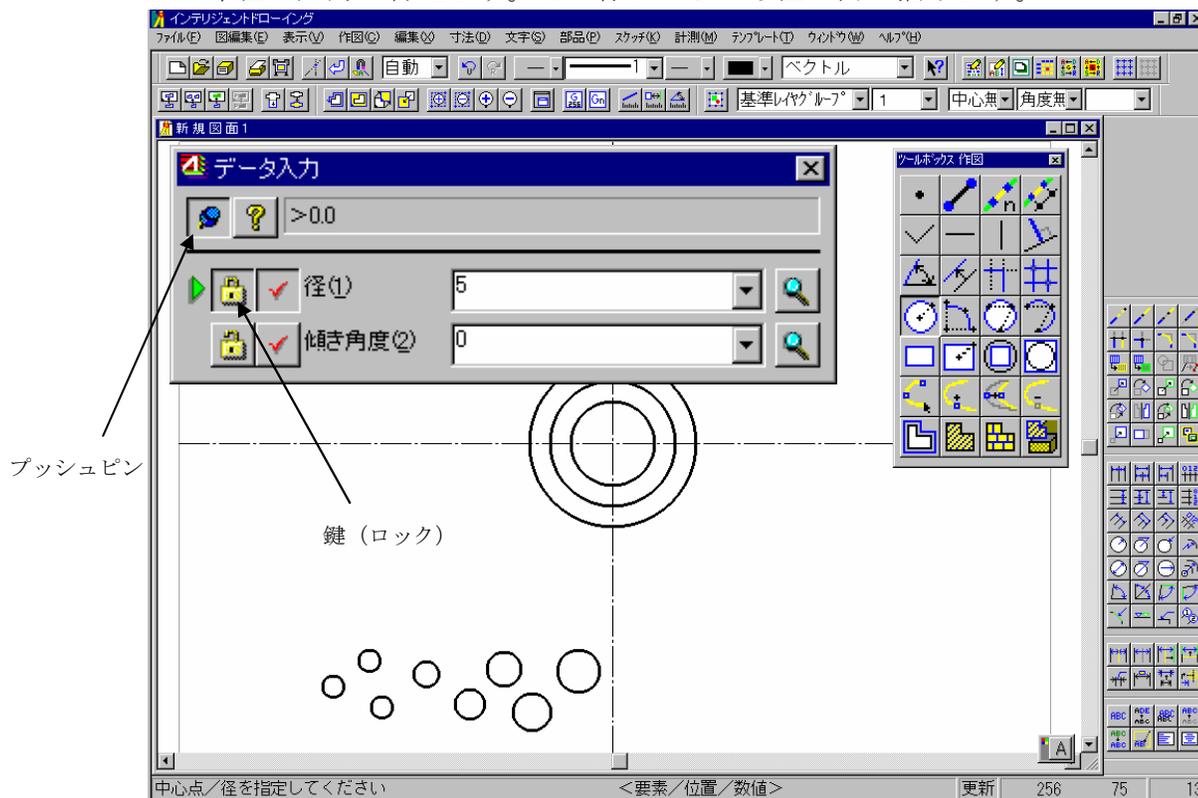
次に作図の**円-中心**で円を描いてみましょう。

中心を指定して、半径を数値入力 (20) します。

数値と数値の間 (20, 30, 40) をカンマで区切りますと同心円が描かれます。

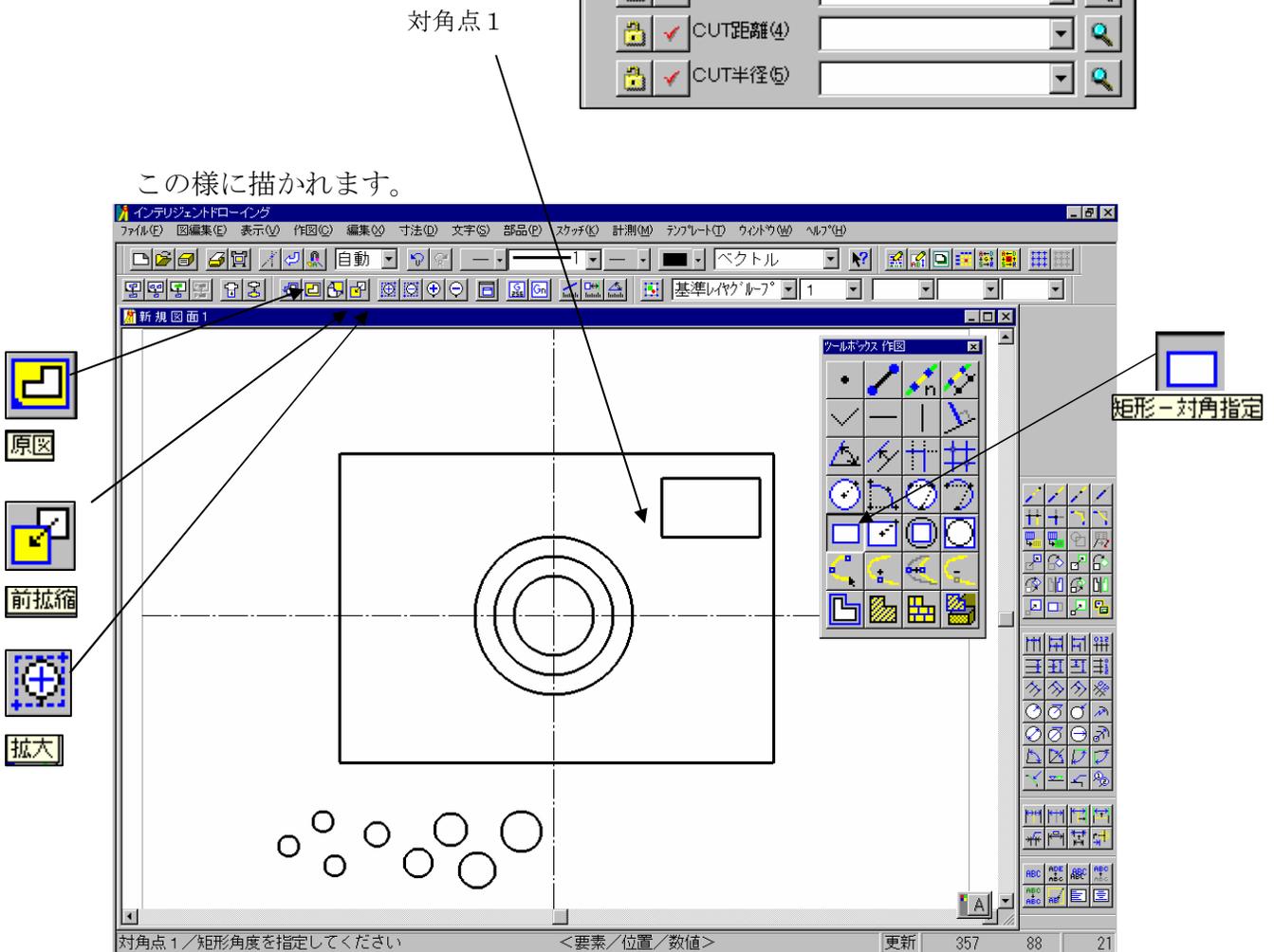


円の作図は、この他に先に半径（5）を入力し、鍵マークの様なボタンをピックアップし、鍵をかけた形にしますと、このように何度も同じ径の円が確定し配置できます。又、プッシュピンを押したような表示にしますと、左上に表示したままで半径の入力が行えます。この様にいろんな径の円が描けます。



次に矩形を描いてみましょう。**矩形-対角指定**を選択します。対角点 1、対角点 2 を、マウス左クリックで指定します。

数値入力で矩形を描きたい時は、対角点 1 を指定した後、**50 カンマ 30 (50, 30)** リターンを入力します。



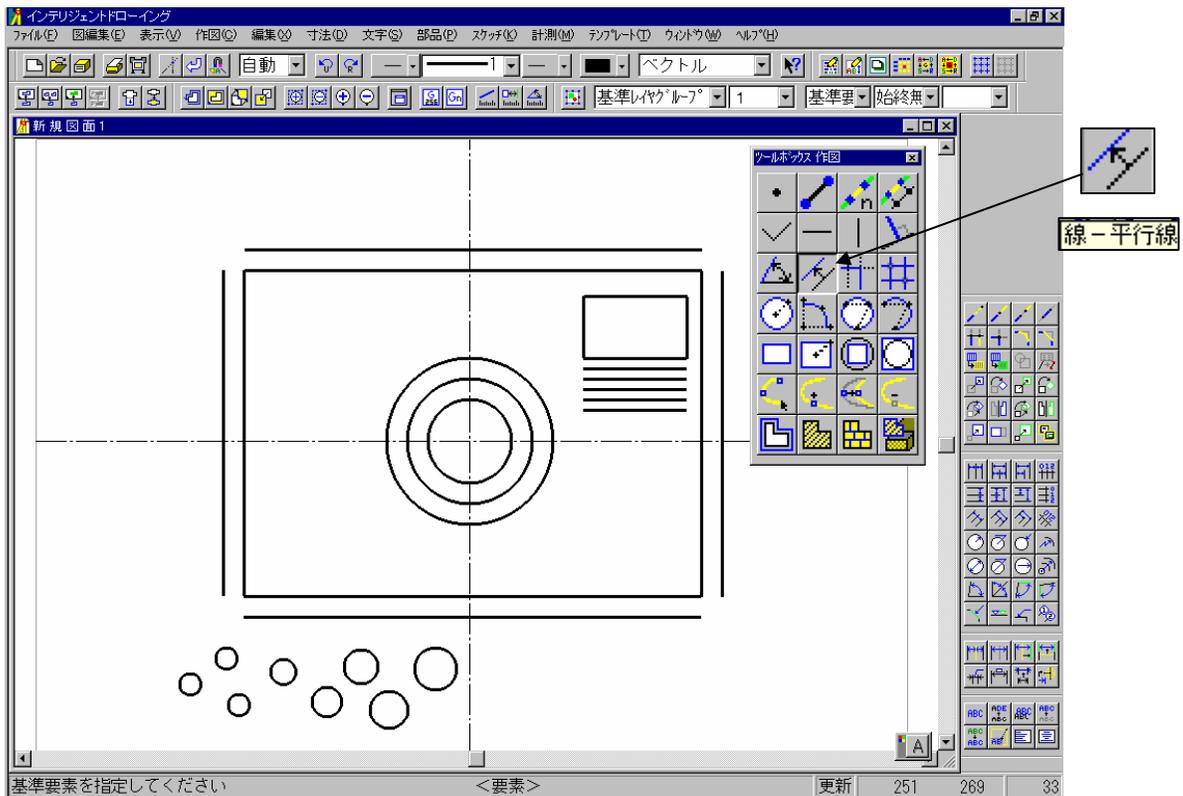
画面を拡大してみましょう。

上側ツールバーの**拡大**アイコンをクリックし、拡大したい所を対角指定で囲みます。

**前拡縮**で現在の画面から直前の画面に戻ります。

**原図**は初めの A 3 図画面に戻す時に使います。

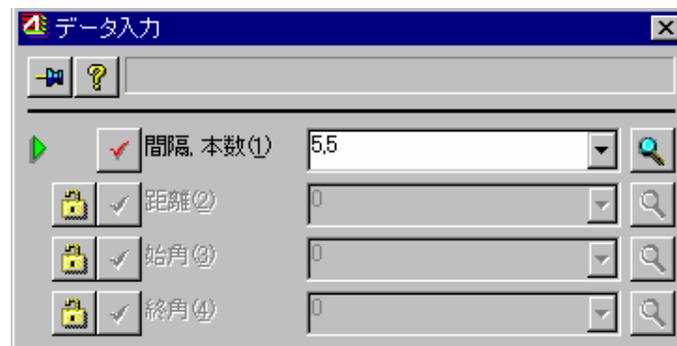
次に平行線を描いてみましょう。



基準要素を選択する時に、指示する方向が決まります。次に間隔を数値入力(10)してみましょう。

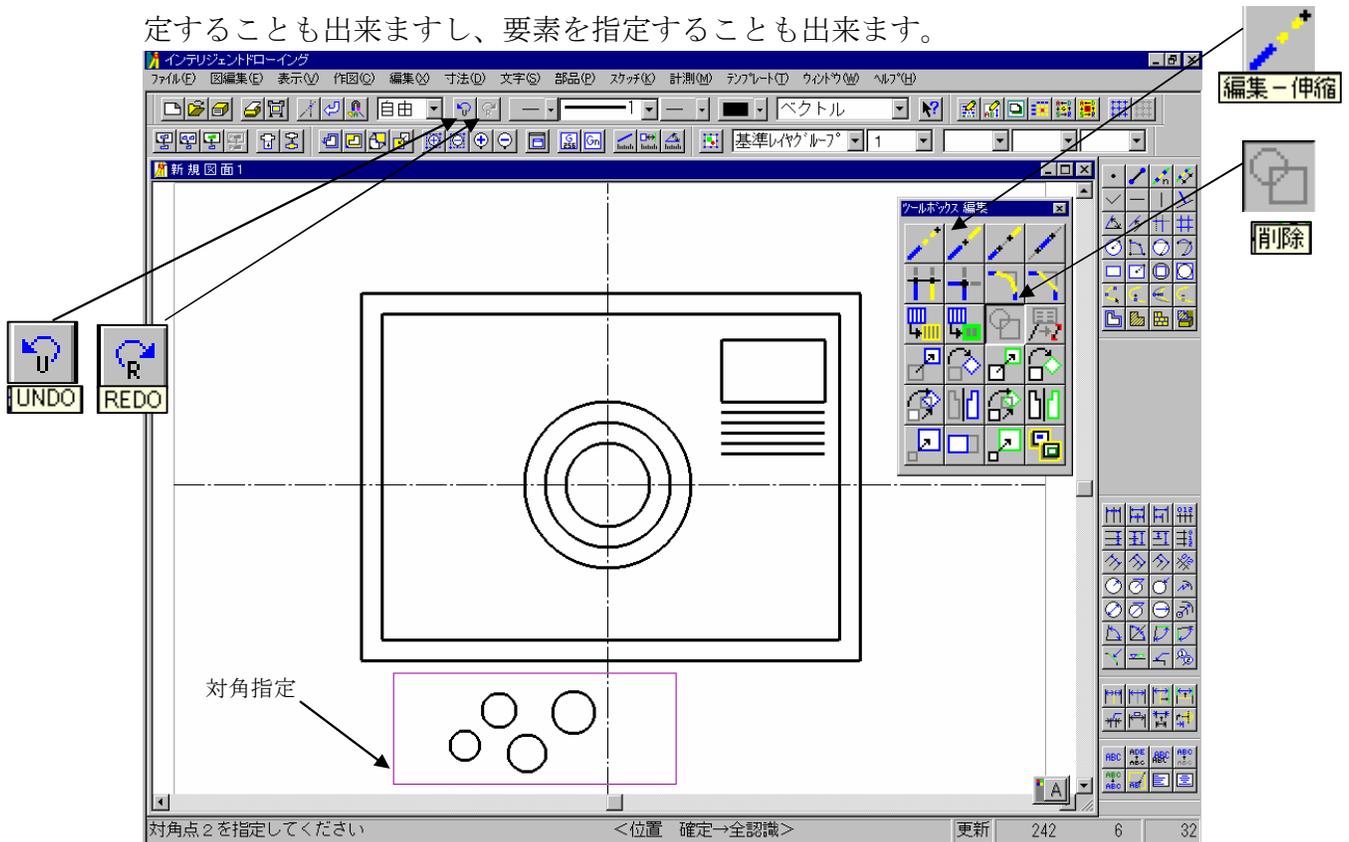
間隔カンマ本数と入力することも出来ます。

(5, 5と入力)



次に編集の伸縮を行います。

初めに編集させたい要素をクリックし、伸縮点を指定します。任意の位置を指定することも出来ますし、要素を指定することも出来ます。

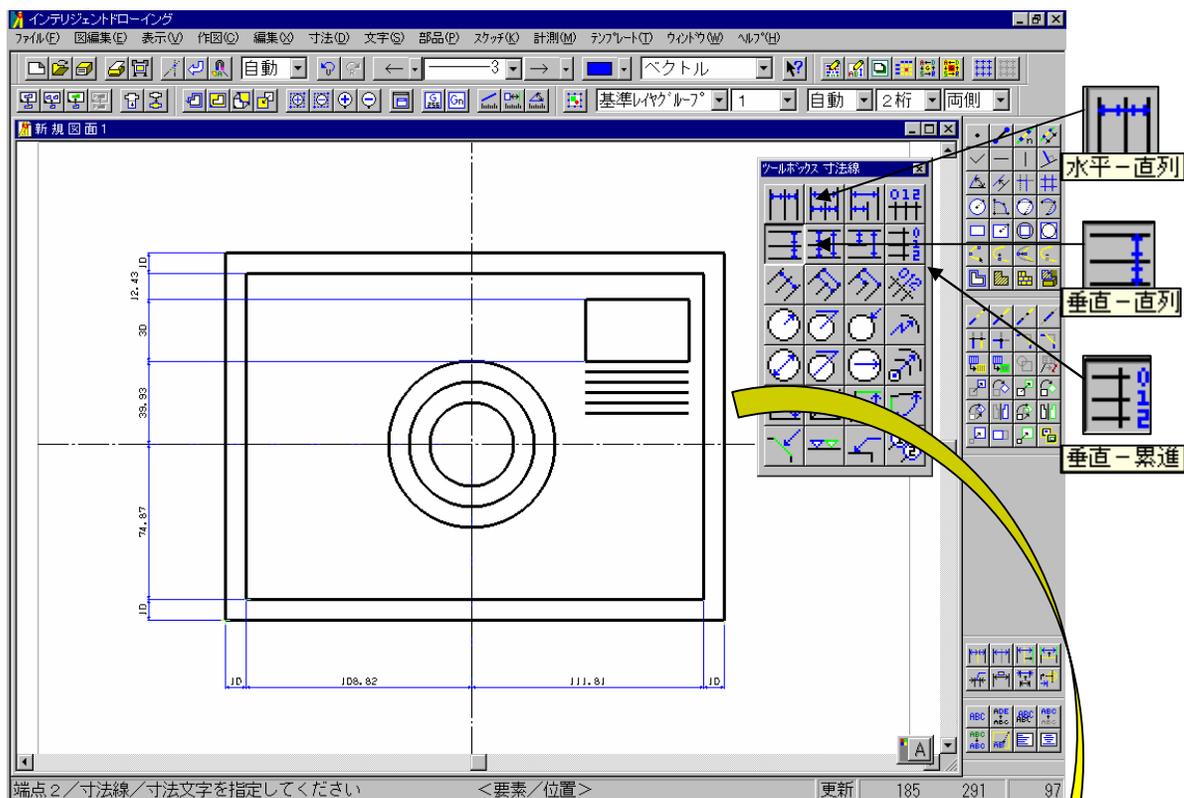


次に編集の削除を行います。マウスの左クリックで要素を選択し、キーボードのリターンキーを押します。複数の要素を選択する時は、マウスの左クリックで要素を選択し、リターンキーで出来ます。まとめて選択する場合は、対角指定をします。この時枠に完全に入っている要素だけが削除の対象になります。

また、操作を取り消す UNDO 機能を使いたい場合は、画面上側のツールバーから UNDO 機能アイコンを 1 回クリックします。また、キーボードの BS と表示されている BackSpace キーでも UNDO 機能は行えます。REDO 機能は UNDO の右隣にあるアイコンを押すか、キーボード BackSpace キーの左隣にある 𐀀 マークと表示されているキーで行います。UNDO, REDO 機能は無制限に行うことが出来ます。

次に寸法線を作図してみましょう。

まず水平寸法を行います。**水平一直列**を選びます。端点 1 を決めて寸法線を描く起点を指定します。次に端点 2 を指定します。終わりましたら、描く位置を指定します。メッセージが端点 2 と表示されていますので、続いて次の端点を指示します。この様に同じ位置に寸法を描く事が出来ます。



次に**垂直一直列**を選びます。

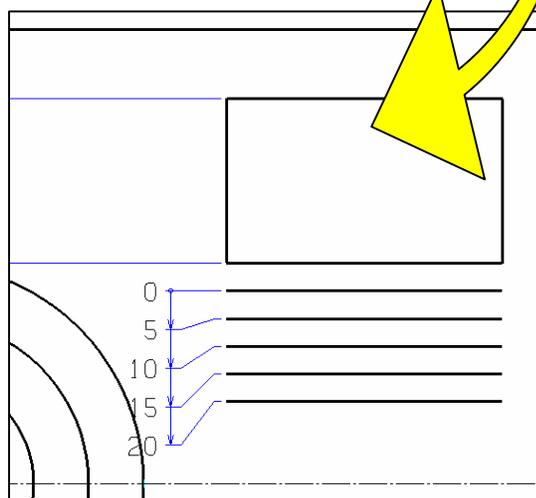
先ほどの水平寸法と同様に寸法の端点を指定し、記入してみましょう。

次に**垂直-累進**を選びます。

(拡大する)

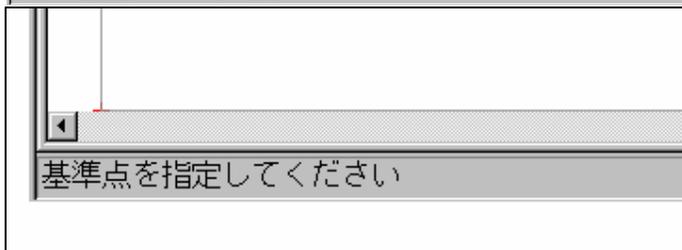
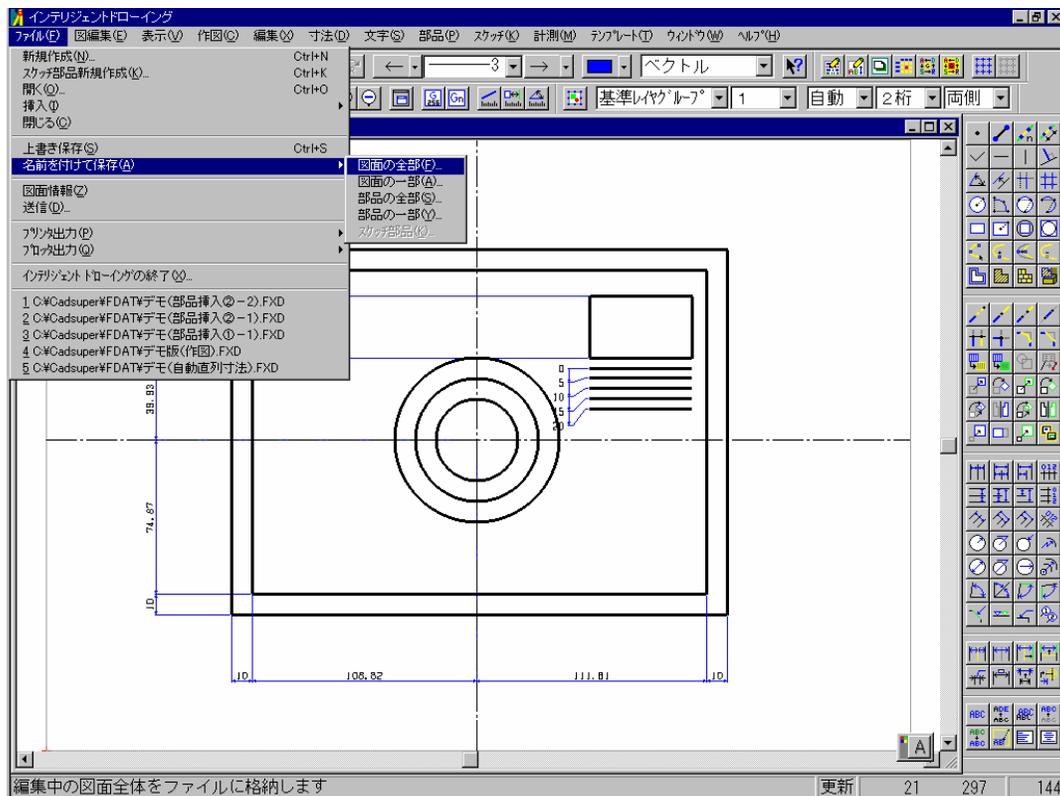
基準点を決めて、引き出し点を指定します。次に記入点を連続指定します。

ご覧の様に込み入った所では、寸法文字が重ならない様に記入されます。



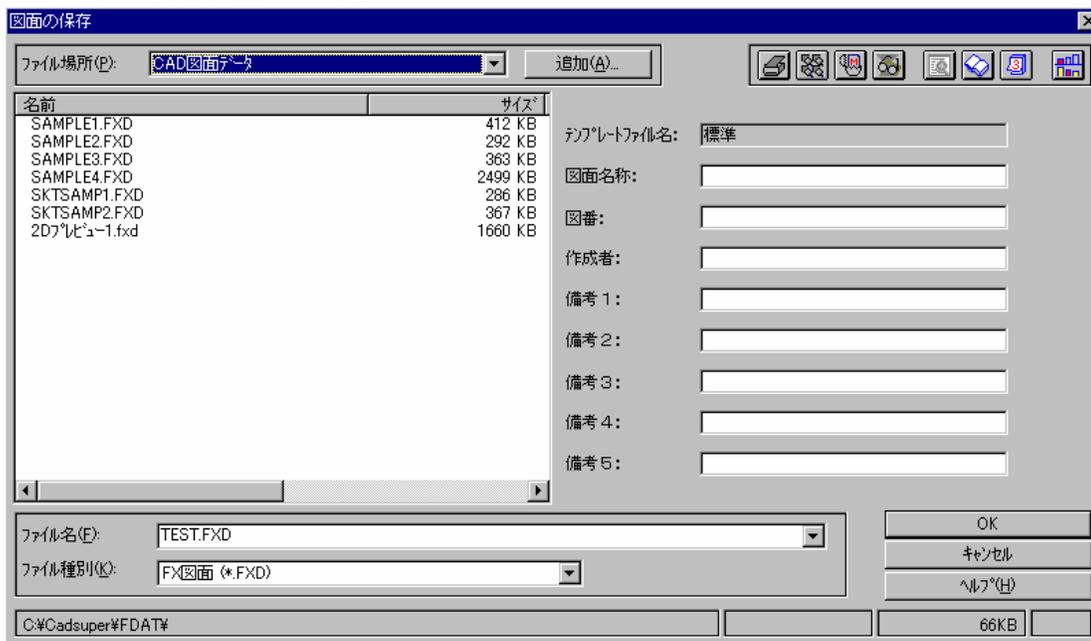
次に図面を保存してみましょう。

ファイルメニューの名前を付けて保存—図面の全部を選択します。



基準点を指定して下さいの所は、リターンキーを押しますと、用紙左下の所が図面の基準点となります。

ファイル名を入力します。



ファイル名の所で左クリックして **TEST** と入力してみましょう。OK ボタンを選択します。図面が登録されましたので、ドローイングを終了します。

ファイルのインテリジェントドローイングの終了を選択します。

